

大学祭用 災害・危機対応マニュアル

2026年度

文責 2026年度大学祭実行委員会 幹部

本マニュアルは、災害時の非常事態が発生した際、安全確保及び二次被害防止を目的に初期対応について記載する。大学祭の継続・中止に関しては大学及び大学祭実行委員会が判断するが、非常事態に対する最終的な判断や対応は大学に従うものとする。

1、避難場所と避難経路



※大学祭中の災害対策本部はA-216になります。

一時避難場所: エスカレーター前・C5棟前・K(音楽)棟前・みんなの広場

最終避難場所: 陸上競技場

※災害発生後、それぞれの現在地から一時避難場所に避難し、その後実行委員の指示に従って最終避難場所に避難する。

一時避難場所と避難する人(目安)

- ・エスカレーター前へ避難
 - 飲食出店エリア・A棟1階にいる人
- ・C5棟前・K棟前へ避難
 - C5棟前・アイリス前ステージ・A棟2,3階・食堂横の駐車場にいる人
- ・みんなの広場へ避難
 - サークル棟・サークル棟前駐車場にいる人

避難誘導の担当(実行委員のシフト)

- ・エスカレーター前にいる人の誘導
 - 衛生本部(A-106, A-107)・エスカレーター前受付シフト

- ・C5棟前・K棟前にいる人の誘導
→本部・ステージシフト
- ・みんなの広場にいる人の誘導
→駐車場受付シフト
- ・A棟内にいる人の誘導
→見回り・本部シフト

※基本的に災害発生時にいた場所に近い一時避難場所へ避難する。

※下山はかえって危険なため、試みない。

※記載のシフト以外の実行委員は災害発生時にいた場所から最も近い一時避難場所へ。

※K棟前はC5棟前に人があふれそうになった場合に使用。基本的にC5棟前に避難。

避難経路

- ・みんなの広場(赤色)
→体育館裏の道を通って陸上競技場へ
※道が空いていなければ、体育館前を通り、体育館横を通って陸上競技場へ
- ・事務局棟前・K(音楽)棟前(黄色)
→生協横の駐車場を通った後、右に上がり道のりに沿って陸上競技場へ
→図書館横の坂を上り、道のりに沿って陸上競技場へ
- ・エスカレーター前(青色)
→エスカレーター前の車道から降りて体育館前を通り、体育館横を通って陸上競技場へ



2. 発生時直後の対応

<地震>

▶テントブース

- 1, 直ちにテントから出て、揺れが収まるのを待つ。
- 2, 揺れが収まったらA棟前及びAB間のA棟側で出店していた団体はA棟1階へ。AB間のB棟側で出店していた団体はB棟1階へ避難。
- 3, 貴重品や私物等はいったん放置し、直ちに避難。安全が完全に確認されるまで、絶対に荷物を取りに戻らない。
- 4, 実行委員会幹部の指示に従い、一時避難場所へ避難する。テントは放置。

▶野外ステージ(C5棟前・アイリス前)

- 1, 演者・観客・PAテント内にいる人は直ちにステージもしくはテントから離れる。
- 2, 貴重品や私物等はいったん放置し、直ちに避難。安全が完全に確認されるまで、絶対に荷物を取りに戻らない。
- 3, 実行委員会幹部の指示に従い、一時避難場所(p,2参照)(C5棟前ステージにいる人はその場で待機)に避難する。テントは放置する。

▶講義室・屋内ステージ

- 1, 直ちに机の下に隠れる。机を使用しない団体は教室の中心に集まり頭を守る。
- 2, 実行委員会幹部の指示に従い、一時避難場所へ避難する。(貴重品や私物等はいったん放置し、直ちに避難。安全が完全に確認されるまで、絶対に荷物を取りに戻らない。)

津波の危険性

大学が津波自体の被害を受ける可能性は低いですが、大和川等に津波が遡上し氾濫が起きる可能性がある。なるべく奈良側へ、川などがある方向には行かない。この危険性を考える意味でも、**下山しない**。

※一時避難場所への避難が完了し、人数や負傷者の有無などを確認出来たら実行委員の指示に従って最終避難場所へ避難する。

※地震発生時、大学棟内に避難できない人はすぐに近くの一時避難場所や周りに建物等がない場所に避難する。

<火災>

▶テントブース

- 1, 一旦テントから離れる。
- 2, 火元が確認できるくらい視界がはっきりしている場合
・炎が背丈以下もしくはテントの屋根に達していない場合
→ 消火用バケツの水または消火器で初期消火を行う。
※油火災や電気火災には絶対に水をかけず、必ず消火器を使用してください。(油火災や電気火災に水をかけると、炎が爆発的に拡大したり、感電したりして危険なため)
・火元が確認できないもしくは視界がきかない場合
・炎が背丈以上もしくはテントの屋根に達している場合
→ 直ちに一時避難場所へ避難し、実行委員に連絡する。
- 3, 火災の規模が大きい場合、周辺テント内にも**大声で知らせ**、活動も一時中断する。プロパンガスの元栓を閉め、一時避難場所へ避難する。
☆実行委員事務担当が消火対応・安全確認を行う。

▶屋外ステージ(C5棟前・アイリス前)

- 1, 演者・観客・PAテント内にいる人は直ちにその場を離れる。
- 2, 一時避難場所(C5棟前ステージにいる人はその場で待機)へ避難し、実行委員の指示に従う。
☆実行委員運営担当者は事象に応じた初期対応を行うと同時に本部へ発生事象について報告する。本部は企画責任者(PA部門長)(繋がらない場合は、企画副責任者(PA副部門長))へ連絡し、連絡を受けた企画責任者(企画副責任者)は事象が発生したステージへ向かう。
企画責任者(企画副責任者)主導のもとで対応し、対応後は本部へ対応内容を報告する。なお、状況に応じて応援を要請する。

▶講義室・屋内ステージ

- 1, 窓や出口以外の扉を閉め、直ちに部屋から出る。
- 2, 一時避難場所へ避難し、実行委員の指示に従う。

※火災の規模が甚大で、延焼の恐れがある場合、一時避難場所への避難が完了し、人数や負傷者の有無などを確認出来たら実行委員の指示に従って最終避難場所へ避難する。

※消火器設置場所について

- 1, 大学祭実行委員会本部A-216
- 2, A棟内各教室前(屋外出店・屋内出店)
- 3, C5棟内各教室前(C5棟前ステージ)
- 4, 大学会館内(アイリス前ステージ)

<不審者>

▶テントブース・屋外ステージ・講義室・屋内ステージ共通

- 1, 身の安全を確保する。
→不審者の視界から外れる・貴重品を身につける・教室の施錠等
- 2, 実行委員に連絡する。
→電話や本部に来る等直接連絡できない場合、公式LINEまたはオープンチャットを使用する。

☆実行委員は連絡を受けたら直ちに課外活動係へ報告する。

※不審者…カメラを向けてくる・執拗に話しかけてくる等も含む。些細な行動でも怪しい・不自然だと感じた場合は直ちに実行委員へ連絡する。

※不審者を刺激しないことを心がける。

※明らかな刃物所持や暴力行為がある場合は、実行委員を待たずに各自で110番通報する。その後、実行委員へ連絡する。

※近年増加傾向にあるため、特に注意する。

<停電>

▶テントブース・屋外ステージ・講義室・屋内ステージ共通

その場で復旧を待つ。

☆電力使用団体への対応は実行委員事務担当が主導で行う。

<水害>

①雨量に伴う影響の確認について(実行委員会)

- 1, 雨が降ってきた際、実行委員巡回担当が雨の強さ及び雷の有無について確認する。また、本部からも屋外の天候について確認する。

- 2, 実行委員天候担当は基本的に気象庁のデータをもとに判断を行う。なお、ウェザーニュースやYahoo!天気等を活用する。

②実行フローについて(実行委員会)

- 1, 天候確認を行い、危険度判断を行う(天候担当、会場担当)
- 2, 委員長、天候担当、課外活動係の3人で協議する。
- 3, 判断を全体周知(オープンチャット)し、同時並行で新入生及び来場者の誘導(メガホン等を用いて声掛けを行う)、SNS告知、声掛けにより避難させる。**備品及び立て看板等は後回しで、人命を優先すること。**

③各種判断基準について

基本的には、「客観的な気象データ」と「現状」を総合して判断する。なお、状況に応じて以下の対応を行う。

1, 当日 (実行委員会)

1.1 小雨の場合(=短時間、安全に支障なし)

→基本的に営業を続行する。必要に応じてオープンチャット等を用いて周知する。各ステージでは、ビニール袋(大容量)を用意し養生テープで固定する。急な天候不良の場合には、パフォーマンスを止め、各ステージの運営担当者がビニール袋を機材に被せ機材が濡れないようにする。

1.2 大雨の場合(=機材及び安全に支障あり)

(1)風を伴う場合

各ステージでは、基本的に人命優先でA棟への避難を誘導し、同時に重要な機材を屋根のある場所へ移動させる。C棟前及びアイリス前で誘導をする実行委員が来たら、PA担当は機材の運搬に専念する。

(2)風を伴わない場合

上記と同様の対応を行う。なお、避難誘導が済み次第、立て看板や備品等をA棟側へ避難させる。各ステージでも上記と同様の対応を行う。

1.3 雷を伴う気象状態になる場合または警報が発令された場合

②実行フローをもとに、出店企画において、**ガスの元栓を1回生にチェックしてもらい、貴重品等を持ってA棟へ避難するよう誘導を行う。**また、PA担当は即時避難を行う。

【各企画別のフロー】

▶テントブース

- 1, 雷の音が聞こえる
- 2, 火を消し、元栓が閉まっているかどうかを確認でき次第、A棟に避難する。
- 3, 実行委員の指示に従う。実行委員の消火担当は火が消えているかと元栓が閉まっているかを確認する。

▶屋外ステージ(C5棟前・アイリス前)

- 1, C5棟前ステージ付近にいる人は事務局棟へ、アイリス前ステージ付近にいる人は大学会館内へ避難。
- 2, 実行委員の指示に従う。

A, 実行委員が活動中止を全体へ知らせた場合、パフォーマンスの区切りの都合が良い所で一時中断する。

→活動中止の判断は上記の実行フローに準ずる。急激な大雨等の場合はパフォーマンスの都合に関係なく直ちに一時中断する。

B, 身の安全を確保した上で、屋内ステージへ順次移動する。

※実行委員が一時中断の指示を出す前に団体の判断で屋内ステージへの移動を希望する場合はその時点で移動する。

※来場者や団体への情報伝達を確実にを行うため、テントブースの飲食出店が中断している間はステージ企画も活動を中断する。

▶講義室・屋内ステージ

- 1, その場で待機する。
- 2, 実行委員の指示に従う。

※来場者や団体への情報伝達を確実にを行うため、テントブースの飲食出店が中断している間は屋内企画・ステージ企画共に活動を中断する。

<救急>

1, 急病人や負傷者を発見した場合は、本部へ連絡の上、保健センターへ連絡し誘導する。

※明らかに重篤な場合(意識がない、大量出血、呼吸がない等)は、発見者が直ちに119番通報を行い、同時に本部へ連絡する。

2, 実行委員は原則として治療行為を行わない。

3, AEDの設置場所を事前に把握し、必要に応じて速やかに対応できる体制を整える。(AEDの場所はp,2に記載)

特記事項

・上記の内容は基本的な初期対応の概要です。非常事態発生時には実行委員が速やかに指示を出しますので、その指示に従ってください。

・いかなる場合も、人命を最優先に行動してください。

・全体への指示は実行委員が管理する各大学祭専用のオープンチャットでメッセージを送信します。団体への個別連絡が必要な場合は公式LINEを使用しますので、すぐに返信できるようお願いいたします。